



音楽をとおして 伝えたい



園部敏江さん（千津井・45歳）

『フォルクローレ』は、ラテンアメリカの民族音楽、または民族音楽を基礎にした大衆音楽のことで、一般的にはラテンアメリカの中でもアンデスの音楽、たとえばペルーの「コンドルが飛んでいく」が有名である。現在は、日本でもフォルクローレに接する機会が増えてきたようで、駅前などで外国人の路上演奏を目にする機会もある。

園部さんが使う民族楽器の1つ『チャランゴ』は、アルマジロの甲羅を反響版に使った小型のギター形をした楽器であり、ボリビア北部地方が発祥の地ではないかと言われている。この楽器を手に、東京・埼玉・群馬などで演奏活動をしている一方、自身が作曲した「惑星」など、国内外のさまざまなジャンルの音楽に独自のアレンジを加えた演奏もしている。

自身の演奏活動を初めた現在、園部さんには音楽をとおして伝えたいことがある。

「当たり前前に過ごしている生活が当たり前じゃなく、そこに人や物などの存在がある。そこには、あなたの存在が大切で、そこから勇気や元気をもらっている人がいる。そんな自分に気づいて欲しい。伝えたいことがあって、言葉では足りないとき、いろいろな人と心を通わせることができると音楽で表現できたらうれしいですね」と、笑顔で語ってくれました。

みんなの声

このコーナーでは、皆さんからお寄せいただいた「町への手紙」や「町民の声（ご意見箱）」などの一部とその回答をみんなの声として掲載しています。なお、スペースの関係で質問の内容は一部簡略化させていただきました。

Q もう少し街灯を付けて欲しい

明和町に越して来てから1年近くなります。私の家の付近は街灯がないために夜は暗くて曲がったりするのに危険です。今は少し慣れましたが、もう少し街灯を付けてください。よろしく願います。

（中谷・女性）

A 設置要望がありましたら、区長さんまでお申し出ください

本町では、防犯灯を設置する場合「明和町防犯灯設置及び維持管理基準」に基づき、不特定多数の人の通行があり、防犯上必要と認められ、電力供給可能な電柱に添架できる場所に原則

設置しています。

現在、町内に設置している防犯灯には、20Wと40Wの2種類あります。20W防犯灯は、基本的には行政区集落内に設置し、電気料は各行政区に負担していただいています。

また、40W防犯灯は、行政区と行政区の間や、通学路を中心に設置し、電気料は町が負担しています。なお、設置にかかる費用は、いずれも町が全額負担しています。

防犯灯の設置につきましては、設置箇所地権者の同意を得たうえで、区長さんから環境課へ申請していただいております。

設置要望がございましたら各区分長さんまでお申し出ください。（環境課）